

<参考資料 1> 審議経過

2014 年

12 月 2 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 1 回）
役員の選出、今後の進め方について

2015 年

6 月 8 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 2 回）
アンケート作成について、今後の進め方と日程について

7 月 7 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 3 回）
アンケート調査の基本方針の再確認と調査項目の検討、今後の進め方と日程
について

7 月 23 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 4 回）
アンケート調査項目の検討、今後の進め方と日程について

9 月 11 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 5 回）
アンケート最終案について、今後の進め方と日程について

2016 年

4 月 7 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 1 回）
東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケートについて

5 月 11 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 2 回）
東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケートについて

6 月 20 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 3 回）
東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケートの実施結果の確認、と
りまとめの方針と進め方、分担について

9 月 5 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 4 回）
東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート回収結果について、今
後のとりまとめの方針と進め方、とりまとめの分担について

12 月 9 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 6 回）
とりまとめの分担について、今後の進め方と日程について

2017 年

3 月 29 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 7 回）
分担委員からの分野別メモについて、今後の進め方と日程について

4 月 17 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 5 回）
提言のとりまとめについて

4 月 24 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第 8 回）
提言のとりまとめについて

5 月 15 日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第 6 回）
提言のとりまとめについて、アンケートデータのアーカイブ化とメタデータ
共有化について

- 5月29日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会拡大役員会（第7回）
提言のとりまとめについて
- 6月19日 東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第9回）
提言（最終版）について
- 8月31日 日本学術会議幹事会（第251回）
提言「東日本大震災に関する学術調査・研究活動—成果・課題・提案—」に
ついて承認

＜参考資料 2＞アンケート依頼状

事務局を通じて、以下のスケジュールで配信を実施。

2016 年

- 5 月 16 日 第 21～23 期の会員・連携会員宛に協力依頼メールを送付
(当初の回答期限：6 月 16 日)
- 6 月 9 日 リマインドを実施
- 6 月 21 日 回答期限を延長 (6 月 30 日まで。最終的には 7 月 27 日まで回答受け)
- 7 月 1 日 日本学術会議協力学術研究団体宛に協力依頼メールを送付
(回答期限：7 月 20 日)
- 7 月 27 日 回答受けの最終締切り

第 21～23 期の会員・連携会員及び日本学術会議協力学術研究団体への協力依頼メール文は、以下のとおり。

- ・第 21・22 期の会員及び連携会員宛＜ 5 月 16 日配信＞

日本学術会議

第 21 期・第 22 期 会員・連携会員の皆さま
(BCC で送付しております)

「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」への
ご協力(回答および関係者への転送)のお願い

日本学術会議
東日本大震災に係る学術調査検討委員会
委員長 岩澤 康裕

この度の「平成 28 年熊本地震」で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、日本学術会議の課題別委員会である「東日本大震災に係る学術調査検討委員会」では、ミッションの趣旨に基づき 1 年間の検討を重ね、「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」を実施することといたしました。

このアンケートは、2011年3月11日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故に関して全国の研究者・研究グループが行った学術調査・研究活動の全体像を把握するとともに、大災害に関する学術調査・研究活動のあり方や、政府・自治体等が取るべき対策、日本学術会議や学協会・研究者の連携のあり方等についての示唆・教訓を得ることを目的としています。

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず広く東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループを対象とするものです。会員・連携会員の皆さま、さらにこのアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまには、調査の趣旨をご理解いただき、以下の要領にてぜひご協力をお願い申し上げます。

《日本学術会議の会員・連携会員の皆さまへのお願い》

日本学術会議は全国の研究者・研究グループに関する情報を保有していないため、このご依頼文書は、当面、日本学術会議の会員・連携会員の皆さまにお送りします。会員・連携会員の皆さまには、ご自身が東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる場合は後掲の回答方法に従いこのアンケートにご回答をお願いするとともに、会員・連携会員以外で東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループにお心当たりがある場合は、適宜この依頼文書をそれらの方にご転送いただき、このアンケートへのご協力をお誘いいただきますようお願い申し上げます。

《このアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまへのお願い》

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず東日本大震災に関する学術調査・研究活動を実際に行った全国の研究者・研究グループの皆さまにご協力をお願いするものです。アンケートの回答画面（後掲）は日本学術会議の会員・連携会員以外の皆さまにもアクセス可能となっていますので、東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループの皆さまには、ぜひご協力をお願い申し上げます。

【アンケートの実施方法】

1. 回答方法

このアンケートはウェブ上で回答をお願いする形で実施します。東日本大震災に関して何らかの学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループの皆さま（日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかは問いません）は、下記 URL にアクセスし、回答をお願い申し上げます。

++++
+ アンケート回答画面の URL : +
+ <http://www.numa.iis.u-tokyo.ac.jp/taka/tyousa2/top.php> +
++++

2. 回答期限

++++
+ 2016年6月16日(木)午後5時 +
++++

3. 本アンケートに関するお問い合わせ

以下の問い合わせフォームによりお問い合わせください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0065.html>

以上

委員長の代理で、本メールアドレスよりお送り申し上げます。
今期(第23期)の日本学術会議会員・連携会員へは別途ご連絡を
差し上げております。
どうぞよろしくお願いいたします。

・第23期の会員及び連携会員宛<5月16日配信>

日本学術会議
第23期会員・連携会員の皆さま
(BCCで送付しております)

「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」への
ご協力(回答および関係者への転送)のお願い

日本学術会議
東日本大震災に係る学術調査検討委員会
委員長 岩澤 康裕

この度の「平成 28 年熊本地震」で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、日本学術会議の課題別委員会である「東日本大震災に係る学術調査検討委員会」では、ミッションの趣旨に基づき 1 年間の検討を重ね、「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」を実施することといたしました。

このアンケートは、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故に関して全国の研究者・研究グループが行った学術調査・研究活動の全体像を把握するとともに、大災害に関する学術調査・研究活動のあり方や、政府・自治体等が取るべき対策、日本学術会議や学協会・研究者の連携のあり方等についての示唆・教訓を得ることを目的としています。

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず広く東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループを対象とするものです。会員・連携会員の皆さま、さらにこのアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまには、調査の趣旨をご理解いただき、以下の要領にてぜひご協力をお願い申し上げます。

《日本学術会議の会員・連携会員の皆さまへのお願い》

日本学術会議は全国の研究者・研究グループに関する情報を保有していないため、このご依頼文書は、当面、日本学術会議の会員・連携会員の皆さまにお送りします。会員・連携会員の皆さまには、ご自身が東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる場合は後掲の回答方法に従いこのアンケートにご回答をお願いするとともに、会員・連携会員以外で東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループにお心当たりがある場合は、適宜この依頼文書をそれらの方にご転送いただき、このアンケートへのご協力をお誘いいたしますようお願い申し上げます。

《このアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまへのお願い》

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず東日本大震災に関する学術調査・研究活動を実際に行った全国の研究者・研究グループの皆さまにご協力をお願いするものです。アンケートの回答画面（後掲）は日本学術会議の会員・連携会員以外の皆さまにもアクセス可能となっていますので、東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループの皆さまには、ぜひご協力をお願い申し上げます。

【アンケートの実施方法】

1. 回答方法

このアンケートはウェブ上で回答をお願いする形で実施します。
東日本大震災に関して何らかの学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループの皆さま（日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかは問いません）は、下記 URL にアクセスし、回答をお願い申し上げます。

```
+++++
+   アンケート回答画面の URL :                               +
+   http://www.numa.iis.u-tokyo.ac.jp/taka/tyousa2/top.php       +
+++++
```

2. 回答期限

```
+++++
+   2016年6月16日（木）午後5時                               +
+++++
```

3. 本アンケートに関するお問い合わせ

以下の問い合わせフォームによりお問い合わせください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0065.html>

以上

委員長の代理で、本メールアドレスよりお送り申し上げます。
どうぞよろしくお願いいたします。

・日本学術会議協力学術研究団体宛＜7月1日配信＞

日本学術会議協力学術研究団体
ご担当者様
(BCC で送付しております)

日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査・研究活動に関するアンケート」
周知のお願い

日本学術会議・東日本大震災に係る学術調査検討委員会では、本年5月から6月にかけて、下記「東日本大震災に係る学術調査・研究活動に関するアンケート」を実施いたしました。

このアンケートは日本学術会議の会員・連携会員を通じて全国の研究者に協力を呼びかける形で実施いたしました。なお全国には、関係の活動を行っているにもかかわらずこのアンケートの実施をご存じない方も多数おられるのではないかと考えます。

アンケートの周知が行き届かない専門分野がありますと、その分野の研究者の活動やご意見がアンケートに反映されない結果となりかねませんことを危惧しております。

そこで、本委員会としては、日本学術会議協力学術研究団体のご協力を得て、重ねてこのアンケートの実施を周知できないかと願っております。貴研究団体におきまして、HPやメーリングリスト等所属の会員への周知の方法をお持ちの場合は、このアンケート

の実施につきまして、会員への周知をお願いできますと幸甚です。回答は、7月20日（水）午後5時まで受け付けております。決してご無理をお願いする趣旨で

はなく、ご理解の上、ご協力をお願いできるようでしたら大変ありがたく思います。

なお、このアンケートは、東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行った研究者個人（またはグループ）にご協力をお願いするもので、貴研究団体の組織としてのご回答をお願いするものではありませんことを申し添えます。

何とぞご協力を宜しくお願い申し上げます。

日本学術会議
東日本大震災に係る学術調査検討委員会
委員長 岩澤 康裕

「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」へのご協力(回答および関係者への転送)のお願い

日本学術会議
東日本大震災に係る学術調査検討委員会
委員長 岩澤 康裕

この度の「平成28年熊本地震」で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、日本学術会議の課題別委員会である「東日本大震災に係る学術調査検討委員会」では、ミッションの趣旨に基づき1年間の検討を重ね、「東日本大震災に関する学術調査・研究活動に関するアンケート」を実施することといたしました。

アンケート回答画面の URL :

<http://www.numa.iis.u-tokyo.ac.jp/taka/tyousa2/top.php>

このアンケートは、2011年3月11日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故に関して全国の研究者・研究グループが行った学術調査・研究活動の全体像を把握するとともに、大災害に関する学術調査・研究活動のあり方や、政府・自治体等が取るべき対策、日本学術会議や学協会・研究者の連携のあり方等についての示唆・教訓を得ることを目的としています。

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず広く東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループを対象とするものです。会員・連携会員の皆さま、さらにこのアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまには、調査の趣旨をご理解いただき、以下の要領にてぜひご協力をお願い申し上げます。

《日本学術会議の会員・連携会員の皆さまへのお願い》

日本学術会議は全国の研究者・研究グループに関する情報を保有していないため、このご依頼文書は、当面、日本学術会議の会員・連携会員の皆さまにお送りします。会員・連携会員の皆さまには、ご自身が東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる場合は後掲の回答方法に従いこのアンケートにご回答をお願いするとともに、会員・連携会員以外で東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループにお心当たりがある場合は、適宜この依頼文書をそれらの方にご転送いただき、このアンケートへのご協力をお誘いいたしますようお願い申し上げます。

《このアンケートを受け取った全国の研究者の皆さまへのお願い》

このアンケートは、日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかを問わず東日本大震災に関する学術調査・研究活動を実際に行った全国の研究者・研究グループの皆さまにご協力をお願いするものです。アンケートの回答画面（後掲）は日本学術会議の会員・連携会員以外の皆さまにもアクセス可能となっていますので、東日本大震災に関する学術調査・研究活動を行っておられる研究者・研究グループの皆さまには、ぜひご協力をお願い申し上げます。

【アンケートの実施方法】

1. 回答方法

このアンケートはウェブ上で回答をお願いする形で実施します。
東日本大震災に関して何らかの学術調査・研究活動を行った研究者・研究グループの皆さま（日本学術会議の会員・連携会員であるかどうかは問いません）は、下記 URL にアクセスし、回答をお願い申し上げます。

```
+++++  
+   アンケート回答画面の URL :                               +  
+   http://www.numa.iis.u-tokyo.ac.jp/taka/tyousa2/top.php       +  
+++++
```

2. 回答期限

```
+++++  
+   2016年7月20日（水）午後5時（延長しました）           +  
+++++
```

3. 本アンケートに関するお問い合わせ

以下の問い合わせフォームによりお問い合わせください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0065.html>

以上

委員長の代理で、本メールアドレスよりお送りいたします。
どうぞよろしくお願い申し上げます。